

Care12



理想のすまいと建築を叶える12の配慮

理想のすまいや建築には、施主のご要望に加え、その設計・施工から流通に携わる方々への配慮、又脱炭素やサステナビリティなど地球環境にも配慮することが大切です。つまり生命や財産を守り、地域の結びつきや家族の団欒を可能にし、業界最適であって且つ地球環境への負荷を軽減し持続可能でなければなりません。理想は個人の価値観や時代背景によって刻々と変化するものですが、一般社団法人 日本建築材料協会はこの度「理想のすまいと建築を叶える12の配慮（Care 12）」を提唱致しました。この提唱を通じて異なる価値観を持つ人々が集い、理想について議論し、未来の住まいや建築に関する新たな着眼点や着想が生まれ、より良い未来を築くための道しるべとなることを期待しています。

「すむひと」にやさしく

1 誰もが心配なく、安全に使えるすまいのための建材を。 ここおきなく 安心安全	2 災害発生時に人命を救い、被害を最小限にとどめる工夫を。 もしものときも 防災減災	3 毎日の暮らしによりそお気に入りを。 わたしらしく デザイン	4 地域社会に根付く文化や風習、景観を大切に。 ここかよう 地域親和
--	---	--	---

「つくるひと」にやさしく

5 施工しやすく、人手不足を補える建材を。 つくりやすい 省施工性	6 必要な時に手に入れることができる方法を。 だんどりしやすい 安定供給	7 必要な商品を、すぐに見つけて比較しやすく。 えらびやすい 建材DX	8 効率のよい、最適な方法とルートでお届けを。 はこびやすい 物流効率
--	---	--	--

「ちきゅう」にやさしく

9 温室効果ガスの排出抑制に取組みます。 たんそをへらす 脱炭素CN	10 長く使える建材で、サステイナブルな社会に寄与します。 ずっとつかえる 持続可能	11 環境にやさしい素材と製造方法を追求します。 しぜんきれいに 環境保全	12 省エネで、エコロジー・エコノミーに。 だいじにつかう 資源効率
---	---	--	---

Care12

理想のすまいと建築を叶える12の配慮